



三渚保育園 園だより

May 2022



大人も子どもも、ドキドキでバタバタでソワソワな時間を過ごした4月。

新しく保育園生活が始まった保護者の皆様も、きっとこれまでの生活リズムとの変化で戸惑いやお疲れもあったことと思います。

保育園でも実は一緒。ドキドキでバタバタです。新入園児さんを預かるのに、まずは泣かれる事からスタートします。「この子はどうやったら泣かずにご機嫌に過ごせる？」というポイントを探してスタッフと共有します。それでも泣きます。大いに歓迎。そんな時は保育園は楽しく安全なんだと思ってもらえるように頑張ろう！どうする？とスタッフで話し合いをします。

また、在園児もお部屋が変わっただけで心細くなる子が多発！子どもとはこんなに繊細なのか？とを感じるのが毎年この時期です。成長って波のようにいつたり来たり。出来ていたことができなくなる事もあるし、一方で急激に大成長を感じることもあります。

もしかしたら、新入園児のご家族も園に通い出して成長を感じたり、今までよりも甘えてくると感じたりすることがあるのでは？

子ども達にとって、保育園は初めての社会です。大人が社会復帰や新たな環境に戸惑う事と同じですね。同じ年の人達が沢山いる中で、戸惑いつつ人間関係を作ったり、自分の欲求を理解してもらおう為に、泣いたり、あえて人と違う行動をして様子を伺ったりと頑張っています。

さて誕生時、目も見えない赤ちゃんが2か月後には色を感じ始め、3カ月目には母親を認識するという人間の驚異的な発達。自分を取りまく環境から脳内の神経細胞はつながり成長していきます。そんななか、面白い情報があります。

- ・ **赤ちゃんの学習能力は人と接する時間に大きく左右される。** (NEWSWEEKより)
- ・ **2歳になると他人を信頼し始め、自立心と個性が発達する。**
- ・ **3歳には計画を立てたり批判的に考える能力が芽生える。**
- ・ **哺乳類のほとんどは遊びを通して社会的スキルや認知能力をあげる。**

大人が遊びを決めるのではなく、子どもが選んだほうが多くのことを学べる。

保護者と保育園が子どもを真ん中に置いて、共にできそうなヒントがありそうです。

大切な乳幼児期を過ごす子ども達の為に少しずつ我々も学んでいき、ご家庭の皆さんと共有できればと思います。

國友 裕子

クラス目標 ~1か月大切にしたいこと~

たんぽぽ組

保育者とのかかわりを喜び、心地よさを感じる。
一人一人の生活リズムに合わせて、安心して過ごす。

もも組

戸外で様々なものに興味を持って触れたり遊んでみたりしようとする。
好きな遊びや触れ合いを保育者とし、信頼関係を深める。

ばら組

戸外で身体を存分に動かして遊び、心地よさを感じる。
砂や草花、生き物に触れ、季節ならではの自然に興味を持つ。

うめ組

園生活に慣れ自分で出来る喜びを感じ持ち身の回りの事を進んでしようとする。
春の自然に触れ図鑑等で様々な草花や昆虫を調べたり新しい発見や興味を深める。

すみれ組

生活や遊びを通して友達に親しみを持つ
園外に出るときの交通ルールなどを再確認していく。

ゆり組

身近な動植物に関心を持ち自ら関わったり、飼育や栽培をして親しみを持つ。
友達とそれぞれ自分の言葉で想いや考えを伝え合い、遊びを発展させていく。



6月の予定

- 1日(水) 衣替え
- 6日(月) お弁当の日
- 13日(月) 避難訓練
- 22日(水) プール開き
- 27日(月) お誕生会
- 27日(月) ~30日(木) 身体測定

● 衣服の調整 ●

子ども達は大人よりも体温が高く、汗をよくかきます。
これから気温が上がる中で、日中快適に過ごせるように**薄手の衣類**をご用意くださるよう
お願いします。

- * 体操服以外の薄手のTシャツをご用意いただいても結構です。
- * 肌着を着ないなどの工夫でもよいです。

2022年度「聞いて！私達のテーマ。」

4月。保育園のスタッフ達もこの一年をどんな風に子ども達と過ごそうかと各クラス毎のチームで言葉を交わしてきました。自分たちの保育を考える時に、年間テーマを1本の柱に据えて、都度このテーマに立ち戻りながら子ども達の興味関心に寄り添いながら保育を考えていこうと思います。

『たくさん触れ合う』

一人一人と触れ合い、思いや欲求を丁寧に受け止めながら愛着関係を築いていく。

個々の発達段階に応じて、五感を十分に発揮できる環境の中で、のびのびと体を動かしたり興味のあるものを見つけてじっくりと遊ぶ。

(見たり、触れたり、聞いたり、歩いたりすることで興味が持てるようになる。)

『ホンモノ体験』

「まだ〇〇歳だから分からないだろう…」。ついつい思ってしまうがちですが、やってみると何歳からでも経験することは大切で、その歳ならではの発見や気づきがあるということを大切にします。

“ホンモノ”に触れることで子ども達の五感をたくさん刺激して、そこから子ども達の興味や関心にもとづいた活動を展開したいと思っています。

昨年度から大切にしてきた“ホンモノ体験”。今年度も引き続き大切にしていきたいと考えています。

【大好きを見つけよう】

大好きな人、大好きな場所、大好きなおもちゃ、大好きな食べ物、大好きな虫等、子ども達にとって大好きと感じられることは限りなくあります。園生活を通して様々な経験の中で、大好きと思うことにひとつでも多く出会い、沢山の幸せを感じられたらと思います。

興味を広げ形にする

う
め
組

日々の生活の中で子ども達が自然の物やいろいろな素材を使用して興味を持ったものを見て終わるのではなく、実際に形にする事で新しい発見へと繋げていくということです。

発見からのTrial～やってみよう～

す
み
れ
組

うめ組の時に、色々な場所に散歩に行き、沢山の発見がありました。「なぜ?」「どうして?」という子ども達の疑問に寄り添い保育を行って行く中で、「してみたい!」「やってみたい!」という気持ちがどんどん強くなっていきました。そこで、今年度は子ども達の発見から生まれた、興味・関心を実際に体験していきたいと思っています。その中で、季節の移り変わりを感じたり、お友達と協力したり工夫する楽しさを感じて欲しいと思っています。

循環

ゆ
り
組

すみれ組から引き続き「クリーン戦隊ユリレンジャー」として引き続きごみ拾いを行います。また、新たに園外に飛び出し、活動地域を三潞小学校周辺まで広げ、ごみの無い綺麗な地域をふやしていきます。廃材にも目を向け、不必要な物から必要な物を作る活動にも取り組みます。

さらには外部団体の協力を仰ぎながら活動していく予定です。こういったことを通して、身近な環境から世界の環境まで視野を広げ、子ども達と様々なことを知り、考え、意見を交わしていこうと思います。

是非、保護者の皆様も温かく見守っていただき
ご協力ください。



たんぽぽ組

もも組

ばら組